

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2012-74965(P2012-74965A)

【公開日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2010-218988(P2010-218988)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 B 7/005 (2006.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

H 04 B 7/005

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月25日(2013.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

伝搬路推定を行う伝搬路推定部を備え、

前記伝搬路推定部は、

伝搬路適合度を向上させる順番にバスを検出する処理を繰り返すバス検出部を備え、

前記伝搬路適合度として、

伝搬路推定値と受信信号の適合の度合いと、前記バスの数に基づいたペナルティの和を

用いること、

を特徴とする受信装置。

【請求項2】

前記バス検出部は、前記伝搬路適合度を向上できるバスが無くなるまで、バスを検出する処理を繰り返すことを特徴とする請求項1に記載の受信装置。

【請求項3】

前記バス検出部は、1バスずつ検出を行うこと、

を特徴とする請求項2に記載の受信装置。

【請求項4】

前記バス検出部は、前記伝搬路適合度を向上できないバスを候補から削除する処理をさらに備えること、

を特徴とする請求項1から3までのいずれか1項に記載の受信装置。

【請求項5】

前記バス検出部は、前記ペナルティを、前記パイロットシンボルの配置周波数に基づいて算出すること、

を特徴とする請求項1から4までのいずれか1項に記載の受信装置。

【請求項6】

前記バス検出部は、前記ペナルティを、前記パイロットシンボルの時間波形に基づいて算出すること、

を特徴とする請求項1から4までのいずれか1項に記載の受信装置。

【請求項7】

伝搬路推定を行う伝搬路推定ステップを備え、

前記伝搬路推定ステップは、

伝搬路適合度を向上させる順番にパスを検出する処理を繰り返すパス検出過程を備え、

前記伝搬路適合度として、

伝搬路推定値と受信信号の適合の度合いと、前記パスの数に基づいたペナルティの和を用いること、

を特徴とする受信方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の受信方法をコンピュータに実行させるための受信プログラム。